

事業所名

さゆり会 ひまわりルーム

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

R6 年

10 月

1 日

法人（事業所）理念		「先駆」地域の福祉ニーズに即応した先駆的で開拓性のある事業に積極的に挑戦する 地域の福祉ネットワーク構築のための先駆けとなり、他の事業者と協働しながら主体的に活動する。 様々な偏見や人権蹂躪解消のための先兵となり、防波堤となって権利擁護を推進する。 「共生」利用者と共に生きる→我々は指導者でなく、利用者と共に歩む支援者でありたい。 地域社会と共に生きる→地域福祉を推進し、実現していく開かれた法人でありたい。 職員と共に生きる→法人最大の資産は職員一人一人であることを強く自覚して人材育成に邁進する組織でありたい。									
支援方針		①子どもたちが成功体験を積み重ね、自己有能感を育むことを支援する ②親子療育を通して、子どもへの理解を深め、保護者の思いに寄り添い、支援する ③保育園・幼稚園・学校・保健所・医療機関・相談支援事業所、行政などと連携をとりながら地域での育ちを支える ④児童期のみでなく、ライフステージに応じた切れ目のない支援を提供する ⑤診断の有無に限らない子どもの特性の多様化に応じた療育の質の向上に努める									
営業時間		8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	※旧福江市内に限ります
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	日常生活動作（食事・トイレ・着替えなど）を評価し、獲得に必要な作業課題を提供します。また、自立に向けた道具の紹介をします。 保育所等訪問支援にて実際の食事や着替えを観察し、環境や姿勢の評価も行います。									
	運動・感覚	サーキット活動、運動遊び、制作などの遊びを通して、粗大運動、巧緻動作、口腔機能の向上を目指します。また、小豆遊び、小麦粉粘土、ボール遊び、粉遊びなどの感覚遊びを通して、様々な感触のものを触り、操作し、身体のイメージづくり、操作性の向上を目指します。 運動機能や感覚のバランスを評価するための、検査や質問紙を活用し、子どもさんの状態をご家族と整理し、対応や目標を検討します。									
	認知・行動	型はめやパズルなどの認知課題や、色や大きさ、用途やカテゴリーなど概念形成に必要な知識を遊びやゲームを通して学びます。 数やひらがなに自然に触れる機会を提供します。 認知機能を評価するための、検査や質問紙を活用し、子どもさんの状態をご家族と整理し、対応や目標を検討します。									
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの土台となる人と関わる心地よさや楽しさを感じられるように親子遊びや集団遊びを提供します。 集団活動で大切なコミュニケーションとなる「手伝ってください」「～していいですか?」「お休みしていいですか」などのお助け言葉を練習します。									
	人間関係 社会性	子どもたちが集中したり、情報を正しく受け取れるように、環境刺激のコントロールし、視覚的な手がかりを積極的に活用します。その中で、達成することの満足感や大人や子どもと楽しさを共有する経験を積めるように支援します。									
家族支援		・親子通所を基本とし、子どもさんの活動の様子から、一緒に行動の理由を考え、対応や目標を共有します ・定期面談（1回以上/年） ・相談・面談は随時対応します				移行支援		・連絡状、サポートブックの作成 ・ケース会議への参加 ・教育委員会（就学相談）との連携			
地域支援・地域連携		・保育所等訪問支援事業 ・自立支援協議会・子ども支援部会 ・3歳児健診、5歳児健診における発達相談（委託事業） ・五島市就学支援委員会 ・研修会の実施				職員の質の向上		・発達協会e-ラーニングの活用 ・施設外・内研修の参加			
主な行事等		・サマーレクリエーション ・ミニゲーム祭り									